

陸上競技（短距離）プログラム報告 2015年6月13日（土）中村 泰雄

今回の配布プリントは瘦空穂で作りました。何時もながらのB5の用紙を縦に使い、その上辺中央にタイトルと画像を表示し、その下から空穂とは矢を入れる道具で、花の形がこの道具に似ていて、花序が細く痩せて見えるのでこう呼ばれること。主にアカツメクサやシロツメクサなどの根に寄生すること等々を書きました。

十日にプリントの印刷を終わりました。準備完了。後は十三日のプログラムを待つばかりとなった十一日の早朝。何時もの様にウオーキングをしていた私は当てにしていた場所（野鳥の池の畔）が綺麗に草刈りされているのを目の当たりにしました。瘦空穂はおろか辺りの野草の類はすべて姿を消していました。

以前から気が付いていましたが、これが野草をウオーキング中の植物観賞のターゲットにする時の危険性です。何時草刈りされるか分からない。今迄こんな目に会わずに来ましたが、ついに来るものが来ました。

グズグズ言う前に善後策です。策は二つあります。一つは他の場所に瘦空穂を探すこと。手がかりはアカツメクサの密集地です。瘦空穂は其処に生えている可能性が高い筈です。その二はターゲットを別の植物に変えることです。この時期ですから紫陽花などは如何でしょう。

瘦空穂探しは直ちに始めました。そしてアカツメクサの密集する中に数本の瘦空穂を見付けました。場所は最初の場所からさほど遠くないサイクリングコースのアウト側です。

これで稍安心しましたが、対策はこれで終わったわけではありません。プログラムまではあと二日有ります。それまでに新しい場所が草刈りされない保証は有りません。善後策其の二もやっておかなければ。

ジョギングコースの近くで、他のウオーカーやジョガーの邪魔にならない所に咲いている紫陽花と云うことで、ハーブガーデンの入り口近くで咲いている手毬咲きの紫陽花に登場願うことにしました。

そしてプログラム。私は何時もより早目に出て見付けておいた瘦空穂の場所に行ってみました。瘦空穂は健在でした。ホッ。

ミーティングが終わり、磯野コーチ指導の準備運動が終わり、ウォーキングの集団がスタートしたのを見送って、私はサイクリングコースを逆行して痩せ空穂の現場に向かいました。そして現場に到着して前方を見ると、YK君を始めとするトップ集団が50mの近さに接近していました。

一分足らずで到着した集団に、直ぐ傍のアカツメクサの群れを示して『痩せ空穂はこの辺に生えていそうだよ。探してごらん』とやったところ、阿久沢PCが半歩前に出て、意味有り気に立ち止まりました。その爪先には確かに痩せ空穂が生えていました。

同時に50mほど離れた所で『其処にも』とコーチの声。そんなこんなで五分ほど過ごした後で再スタートしてもらいました。

ウォーキングの後は、二千メートルを走ってタイムを取り、その後短距離と中長距離に分かれ、短距離グループは東に移動し、冒険広場横の緩やかな下り坂を走り下りるスピード練習五本走り、芝生広場の西端に戻ってバトンパスの練習をした後に、中長距離グループと一緒に50メートルの流しを数本走って、かず十一時四十五分、整理運動の後に梅雨の最中の蒸し暑いプログラムを終わりました。